



河合塾未来研究プログラム

ミライの選択



進路選択に**意思決定**を取り入れ
より納得のいく決断へ

河合塾

「探究活動」での活用にも

自身の進路について考える探究活動(進路探究)として、「ミライの選択」を実施いただくことができます。(想定8~14コマ)

探究活動に「ミライの選択」を採用する3つのメリット

- 01 探究の初期指導と進路指導を同時にできる
- 02 先生のノウハウと強みを活かして、探究活動を進行できる
- 03 生徒ごとのペースで実施でき、進路を自分ごとにできる



実施カリキュラムの例(14コマ)

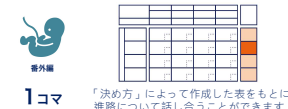
1学期 決め方のフォームを学び、自己理解を深める



2学期 調べ学習を通じて進路の選択肢を広げ、決断のための行動をする



3学期 三者面談の機会に、得られた結論から進路について話し合う



教員用ガイドブックには、全14コマの授業案を掲載。将来訪れるかもしれない「命」にまつわる複雑な選択について扱った「番外編」も収録しています。また、全8コマの授業案もダウンロード提供しており、学校のスケジュールに合わせて導入いただけます。

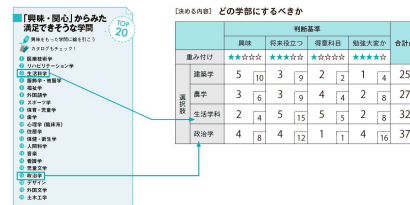


生徒・保護者・教員で進路を共創できる

「ミライの選択」のプログラムを経て、生徒は思考を整理し、自身の進路に対する考えを視覚化できるようになります。教員はより生徒に効果的なアドバイスができるようになり、保護者・生徒間では将来についてより活発な対話が期待できます。

「R-CAP for teens」と組み合わせてより深い進路選択へ

「R-CAP for teens」の結果から自分の気付いていない可能性や大切にしている価値観を発見し、意思決定のプロセスに活かすことで、より深い進路選択ができるようになります。



※適職・適学や興味・関心を測るアセスメントテスト

実施いただいた先生の声

教員研修を受けた後、パワーポイントとテキスト、指導の手引きを見て流れを確認しました。また、事前に担当することが決まっていた第一講に関しては頭の中で軽くリハーサルをして授業に臨みました。パワーポイントに詳細なセリフが書かれていたおかげで流れを逸脱せずにやり切れたと思います。良い意味で「ミライの選択」は高度すぎないため、上位クラス以外でも実践できるのではないかと考えています。また、とても汎用性が高いので色々な場面で活用していけると感じました。授業で扱った決め方は普段のHR活動や行事、委員会の際に使用していくつもりです。意見が割れた時、対立したときはこの手法を利用し、より多くの生徒が納得する結論に持って行くこともできると考えています。

高1生担任

より詳細な情報をご希望の方はHPよりご確認ください。

河合塾主催の進路探究に関するイベント情報や、その他の探究プログラムについても掲載しております。

ミライの選択 検索



お問い合わせ先
受付時間 9:00~17:00
(土日祝休み)

北海道営業 TEL (011) 708-8584
東北営業 TEL (022) 215-7581
関東営業 TEL (048) 647-9581
首都圏営業 TEL (03) 6811-5532

中部営業 TEL (052) 735-1511
近畿営業 TEL (06) 6372-5731
中国営業 TEL (082) 264-4581
九州営業 TEL (092) 714-5711